

よぬだ ところどころ



二十七号

ヨナダーが下米田・牧野の色々な見どころを紹介するよ

信友の公民館と蜂屋層

信友の公民館付近の地質

写真は信友の公民館がある横の切通し道路にある地藏菩薩である。降水量が多い時期には、蜂屋層の上から道路側溝に湧水が出ている。冬季にはこの湧水が凍結することがあり通行に注意が必要である。

信友公民館付近は、信友中山集落との間にある分水嶺でもある。分水嶺を超えた東には「長総池」というため池が設置されている。

左図はジオランド岐阜による山本周辺の地質図である。図中、Vの印がある場所は、蜂屋層といわれる地質である。川辺との境界に南北にピンクで着色されているStと記されているところが東海層群に属する土岐砂礫層である。地質的に考えれば蜂屋層の上に不整合で堆積した土岐砂礫層・高位段丘堆積層があるということになる。蜂屋層は不透水層であるため、段丘堆積層などに浸透した雨水が、段丘面の下から地下水となって湧水するというメカニズムを持つことになる。

東山一帯はこのようなことから水環境に恵まれた場所であり、古くからこの水を農業・生活水として利用してきたという経緯がある。

湧水は、段丘面につくられたため池によって貯水され、水田耕作に利用できたため、古くから人が住み着いた場所でもあった。

しかし、この居住環境の良い場所も水系が小さいことと、傾斜があることから、集中的な降水があれば、災害の原因ともなるともいえる。

